

記事掲載：2022年4月

翻訳：2022年5月

## ノルウェーのアンネ・ベアテ・ティヴィナリム国際開発大臣へのインタビュー



The graphic features a portrait of Anne Beathe Tvinnereim on the right side. On the left, there is a quote in white text on an orange background. Logos for 'EDUCATION CANNOT WAIT' and the Norwegian flag are also present.

EDUCATION CANNOT WAIT

INTERVIEW

ノルウェー

“ The crisis situation facing millions of children in Ukraine is concerning. I am glad that Education Cannot Wait has recently launched a programme to support the children in the country. ”

Anne Beathe Tvinnereim  
Norway's Minister of International Development

©Education Cannot Wait

ECW：国際障害同盟（IDA）、ノルウェー政府、ガーナ政府は、2月に第2回グローバル障害サミットを開催しました。ティヴィナリム大臣はサミットにおいて、障害のある子どもたちの教育を受ける権利といった、本来持っている人権を保障することをパートナーに呼びかけました。どのようにすれば、子どもたちを誰ひとりとして置き去りにすることなく、緊急時の教育の提供を変革することができるのでしょうか？

ティヴィナリム大臣：

国連加盟国は、持続可能な開発目標の実施において、誰ひとりとして取り残さないことを約束しています。確実に誰も取り残されないということは、障害者も含まれるということを意味します。私たちは、障害のある子どもたちが質の高い教育を受けられるようにし、安全で有意義な参加ができるようにしなければなりません。そのためには、1) 障害の有無を含む細分化されたデータ、2) スティグマや差別との戦い、3) 意思決定プロセスへの障害者の有意義な参加が最低限でも必要です。危機や緊急時における教育では、教員の能力を強化し、学習環境や教材のユニバーサルデザインを確保することが大切です。加えて、保健や保護といった他の支援と教育の連携を図り、教育が安全な空間を提供することも不可欠です。この取り組みの成功

は、各国政府、国際機関、市民社会組織、障害者の組織、そしてその他の幅広いパートナーとの密接な協力関係にかかっています。

ECW：ノルウェーは ECW の主要な戦略的パートナーであり、トップドナーの一つです。緊急時や長期化する危機における教育への投資は、なぜこの世界で重要なのでしょうか？また、なぜノルウェーの人々にとって重要なのでしょうか？民間セクターも含め、ECW を通じて教育への投資を検討している他の潜在的なドナーに対して、どのようなことを伝えたいですか？

ティヴィナリム大臣：教育は健康で豊かな生活を送るために、なくてはならないものです。すべての子どもたちが質の高い教育を受けられるようにする必要があり、危機や紛争の影響を受けている子どもたちも同様です。質の高い教育を受ける権利を保障することは、ノルウェーの福祉制度の基本原則であり、私たちはこの基本的人権の保障に他の場所でも貢献していきたいと考えています。気候変動の影響を受けた子どもたちが教育を受け続けられるようにしなければ、SDG4 の達成はかないません。私は、ウクライナの何百万人も子どもたちが直面している危機的状況を懸念しており、ECW が最近、同国の子どもたちを支援するプログラムを立ち上げたことを嬉しく思っています。

ノルウェーは、ECW 増資会合の共催国であることを嬉しく思っています。私は、すべてのドナーや民間セクターが、この増資会議に参加し、貢献することを強く望みます。

ECW：新型コロナウイルス感染症、残虐な紛争や緊急事態は、戦争、強制移住、ジェンダーに基づく暴力、その他の重大な侵害といった言葉で表せないほどのトラウマを抱えながら生きる子どもたちのメンタルヘルスとウェルビーイングを限界まで脅かしています。子どもたちを守り、持続可能な開発目標を達成するための活動を加速させるために、心理社会的支援とメンタルヘルスサービスはどのように実施することができるでしょうか？

ティヴィナリム大臣：緊急時において、教育は間違いなく、子どもや若者の精神的・身体的保護に重要な要素です。教育は、危機のさなかでも安全で安定した環境を与え学習者を保護します。また、教育によって子どもたちの社会情緒的スキルの形成に役立つ日常的で体系的な活動が提供され、日常の感覚、尊厳、希望を回復させることができます。人道的支援に教育が含まれ、学校が攻撃から確実に守られることは、ノルウェーにとって長年にわたる優先事項でした。だからこそ、学校保護宣言（注：学校保護宣言についてはこちら）は非常に重要です。私たちはすべての国が学校保護宣言に賛同し、実施することを推奨します。これまでに 114 カ国が同宣言に賛同しています。ノルウェーは安全保障理事会決議第 2601 号（2021 年）の履行も呼びかけています。

メンタルヘルスサービスと心理社会的支援をプライマリ・ヘルス・ケアに確実に組み込むことは、特に人道的危機の最中とその後において重要です。メンタルヘルスは、健康において最も軽視されている分野の一つです。教員は、生徒をサポートする方法や、生徒が心理社会的支援やメンタルヘルスサービスを受けられるよ

うにすることを知らず研修を受けなければなりません。さらに、教員自身も緊急事態の影響を受け、トラウマを抱えている可能性があるため、適切な支援を受ける必要があることも忘れてはなりません。

ECW：あなたは以前、ノルウェーの地方自治・地域開発省の事務次官を務めていました。2016年世界人道サミットにて主要国・国際機関などの間で合意された、人道支援を効率に行うためのコミットメント「グランド・バーゲン」では、優先課題の一つが、ローカライゼーション（支援の現地化）です。ローカライゼーションは、世界最悪の人道危機における教育提供の改善にどのように役立つのでしょうか？

ティヴィナリム大臣：ノルウェー政府は、人道的努力と開発努力の一貫性を高め、持続可能な解決に貢献することを優先事項の一つとして掲げています。この観点から、人道的・長期的な危機に対応するための地域・国の能力を強化することは重要であり、優先されるべきです。緊急時における教育を守るために、学校を軍事目的に使用してはならないことは重要な原則です。危機の影響を受けた人々が意思決定に参加し、影響を与えることができるようにすることが重要です。教育分野に関しては、生徒や保護者、教員やその他の教育関係者が意思決定に参加し、意見を聴かれることが必要です。国の組織の役割も認識しなければなりません。例えば、そのような組織は、教育の権利を擁護し、影響を受ける人々の声が聴かれるようにする上で重要な役割を果たすことができます。現地の状況を最もよく知っているのは彼らであり、すべてのプロセスに彼らを参加させることが極めて重要なのです。

ECW：危機の影響を受けた推定 6,400 万人の少女たちが、継続的に質の高い包括的な教育を受ける権利を奪われています。最近の分析では、2,000 万人もの少女が新型コロナウイルス感染症のために学校に戻れなくなる可能性があると言われていました。なぜ私たちは、地球上のすべての少女が継続的に質の高い教育を受けられるようにしなければならないのでしょうか？ どうすれば幼児教育から大学まで教育の継続性を確保できるのでしょうか？

ティヴィナリム大臣：まず第一に、教育は性別に関係なく、すべての子どもや若者の権利です。私たちは、学校に通っていた少女や女性がより健康的な生活を送り、より高い収入を得て、より良く子どもの世話をすることができることを知っています。また、教育を受けた女性は、自分たちの社会でより強い政治的・経済的な役割を果たすことができます。そのため、少女が教育を受けられるようにすることは最も重要なのです。それは、少女一人ひとりにとっても、社会にとっても価値のあることです。私は、アフガニスタンではある年齢を過ぎると、少女が中等教育を受ける機会を与えられないという現状に、愕然としています。

幼児期から大学までの教育制度は包括的でなければならず、ジェンダー間の格差をなくしジェンダー平等な社会への変革を意識した、質の高い教育を提供する必要があります。多くの国で、少女は思春期になると学校をやめてしまいます。女の子は必ずしも自分の身体についてのケアや決定を、自分でしているわけではありません。自分の権利を守るために、ジェンダー平等、権利、生殖について学ばなければなりません。そのため、包括的な性教育がノルウェーの開発政策における優先事項となっています。また、例えば女の子が

妊娠したときや出産後に学校に行けなくなるなど、女の子を学校から遠ざけている政策や慣習を取り除くことも重要です。

ECW：世界各地で、気候変動が紛争や移住を誘発し、持続可能な開発目標に向けた進捗を阻害していることが明らかになっています。サヘル地域のように、気候変動の影響が特に大きい地域で、気候、教育、持続可能な開発をよりよく結びつけるにはどうしたらよいでしょうか？

ティヴィナリム大臣：私たちは、気候変動の影響を理解し始めたばかりです。異常気象はますます深刻化し、その発生も増加しています。気候変動と環境の悪化は、様々な形で教育へのアクセスと質に影響を及ぼします。移民の増加、貧困や栄養失調、そして学校のインフラや備品への直接的な影響などです。多くの状況において、少女と女性は危機と移住による影響を不当に受けています。私たちは、気候変動の影響に対処する際に、少女の保護と教育に特に焦点を当てなければなりません。

気候変動は教育の提供に影響を与えるだけではありません。逆に、気候変動の防止と緊急事態への備えのために教育が重要な役割を果たします。質の高い教育によって、子どもたちやその家族は十分な情報を得た上で選択をすることができ、気候変動の解決策の一端を担うことができるのです。例えば、ECW が、南スーダン、ソマリア、ハイチなど、自然災害の被害を受けた国々への支援を行ってきたことは、有益なことです。気候変動の影響が特に強いサヘル諸国にも注目する必要があります。教育と気候変動は、国際的なアジェンダの中でより高い優先順位が与えられる必要があると私は考えています。

ECW：読者は、個人的なレベルであなたのことをもう少しよく知りたいと思うことでしょうし、読書は教育の重要な構成要素です。個人的に、あるいは仕事上で、最も影響を受けた本を2〜3冊、そして、それらを読むように薦める理由を教えてください。

ティヴィナリム大臣：私は読書が好きです。好きな本のひとつは「Growth of the Soil（土の恵み）」（ノルウェー語：Markens Grøde）です。私にとってこの本は自然へのラブソングです。そして、私は仕事がないときは屋外で過ごすのが大好きです。著者のクヌート・ハムスンは、この書物で1920年にノーベル文学賞を受賞しています。もう一人のお気に入り、ベン・オクリです。彼の書くものはすべて好きです。彼の作品をいくつか挙げるとすれば、「A New Dream Of Politics（政治の新しい夢）」というタイトルの詩を選びます。この詩は、政治家としての私たちに挑戦しているだけでなく、理想主義への敬意の表れでもあるからです。

アンネ・ベアテ・ティヴィナリム

ノルウェーの国際開発大臣。国際開発大臣とは、欧州安全保障協力機構（OSCE）以外の国、中東、北アフリカ、アフガニスタンにおける国際開発活動の責任者である。また、国連システム、世界銀行、地域開発銀行、その他の国際的な基金やプログラムの支援のもとでの開発協力の責任者でもある。さらに、北欧協力担当大臣として、ノルウェー開発協力庁、ノルウェー交流協力庁、ノルウェー開発途上国投資基金の責任者。

【翻訳前の記事（英語）】<https://www.educationcannotwait.org/news-stories/featured-content/ecw-interviews-norways-minister-international-development-anne-beathe>